

令和3年10月13日「見勝之」新知事就任初議会!

「拉致問題を考える国民の集い」三重を開催!!

自由民主党会派代表質問、登壇!



1. 三重県政推進のリーダーとして!!

① 岸田新内閣に期待するもの!

質問 去る10月4日、岸田文雄第100代内閣総理大臣が指名され、岸田内閣新体制、「新時代共創内閣」がスタートしました。そして、10月8日の衆議院本会議で、「新しい資本主義」、「成長と分配の好循環」を実現する」と表明されました。

そこで、地方自治体の長として、「岸田新内閣に期待するもの」について、知事の所見をお伺いします。

② 緊急事態時の憲法議論を!

質問 日本国内においても緊急事態時の都市封鎖「いわゆる「ロックダウン」の必要性についての議論で、「現行憲法上に緊急事態時の対応が可能となるよう位置付けるべき」との意見と、「法整備でも可能」との意見が分かれています。

そこで、緊急事態時の「ロックダウン」の必要性について、知事の所見をお伺いします。

③ 南冥の空と海における英霊の追悼!

質問 沖繩や、南冥の空と海で犠牲になられた英霊を追悼する沖繩「三重の塔」での県主催による慰霊式の実施について、当局の所見をお伺いします。

④ アジア経済圏へのアプローチ!

質問 コロナ禍並びにコロナ終息後において、アジア経済圏へのアプローチについて、知事の所見をお伺いします。

中村福祉部長事務代理答弁 遺族の代表、県議会の代表、関係団体も出席を求め、来年一月に県主催で実施したいと考えています。

ア経済諸国、とりわけ台湾とのさらなる友好推進に関して、本県の取組について、知事の所見をお伺いします。

⑤ 北朝鮮拉致問題解決促進!

質問 「北朝鮮拉致問題解決促進」に向けての基本的な考え方について、知事の所見をお伺いします。

一見知事答弁 拉致は決して許されるものでない。国と連携して、あらゆる機会を通じて、取り組んでいきたい。

② 新しい国体・障害者スポーツ大会ありかた!

質問 市町や競技団体のご意見をいただき、国体のあり方の検討を進めます。

③ 国土交通省へのメッセージ!!

質問 リニア中央新幹線中間駅へのアクセス道路建設について、具体化の検討を進めていきます。

各地域の道路整備の促進!

答弁 名神名阪連絡道路は滋賀県と連携し進めていきます。

2. 新型コロナウイルス感染症の教訓!!

質問 コロナ病棟での清掃など、看護師の業務軽減のため、三重県ビルメンテナンス協会の協力をいただき病院での清掃・消毒業務などを進めてまいります。

3. 国士交通省へのメッセージ!!

質問 リニア中央新幹線中間駅へのアクセス道路建設について、具体化の検討を進めていきます。

各地域の道路整備の促進!

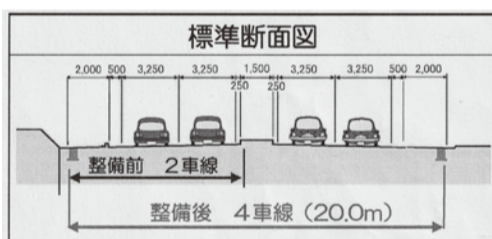
答弁 名神名阪連絡道路は滋賀県と連携し進めていきます。

答弁 また、国道368号4車線化の名張市工区は、10月22日に供用を延長します。今年度内は国道165号接続部の工事を進めるとともに、引き続き伊賀市内の4車線化を含め、着実に進めていきます。

一方、一般県道上等間八幡名張線は、埋蔵文化財の調査を終了し、工事を進めてまいります。



国道368号4車線化八幡工業団地交差点まで延長!



渋滞の緩和
主要渋滞箇所である八幡工業団地1交差点や、桔梗が丘西交差点を4車線化することにより朝夕の通勤時間帯における渋滞の緩和が見込まれます。



第二次緊急輸送道路の機能強化
事業区間は第二次緊急輸送道路に指定されており、4車線化により災害応急対策時の人員及び物資等の輸送機能が強化されます。

工業団地への物流機能の向上
八幡工業団地をはじめとする周辺の工業団地へのアクセス性が強化され、重要物流道路(補完路)としての機能強化が期待されます。

大内橋の橋梁工事着工!



三重県
【問い合わせ先】
伊賀建設事務所 事業推進室 幹線道路課
電話：0595-24-8230 FAX：0595-24-8241

中森博文
引き続き「県政なんでも相談室」を開設しております。地域や団体の課題をお聞かせください。また、気軽にお立ち寄りください。

ご意見をお寄せ下さい
中森博文事務所
TEL・FAX 65-0298
Email: hirofumi@nava21.ne.jp
http://www.e-net.or.jp/user/nakamori

率先実行!

10月7日(木)
リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会臨時総会出席

10月16日(土)
全国都道府県対抗eスポーツ選手権大会現地調査

10月23日(土)
三重県私学振興政策調査

去る10月23日、津市アスト津で開催された三重県私学大会に出席した。その席で、認定こども園つじが丘幼稚園理事 藤森至氏が優良教職員として三重県知事表彰を受けられた。おめでとうございます。



三重県議会報告

総務地域連携デジタル社会推進 常任委員会県内調査!

去る7月18日、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿を訪問し、県営スポーツ施設の整備状況と桑名市のDXの推進について現地開催しました。

また、8月5日、紀北町議会で次世代モビリティ等の活用について、(一社)東紀州地域振興公社では、観光振興の取組について現地調査しました。



医療保健子ども福祉病院 常任委員会県内調査!

去る7月29日、我が地元名張市において、「名張市ケアラー支援の推進に関する条例」について、市民意識調査の報告など現地調査しました。特に、ケアラー支援のうち、18歳未満による「ヤングケアラー」支援が特徴的でありました。



予算決算常任委員会 令和2年度決算総括質疑!

去る11月10日、予算決算常任委員会令和2年度三重県一般会計・特別会計決算についての各会派からの総括質疑が開催され、我が自由民主党会派から、石垣智矢委員、津田健児委員、山本協和委員が登壇しました。



議会運営委員会!

自由民主党会派代表という立場で議会運営委員に選出され、小林正人議会運営委員長の下、他会派との調整役などに努め、三重県議会のスムーズな議会運営がなされるよう、青木謙順議長を支えています。

議会改革推進会議!

議会改革推進会議では、議会の会議場へのパソコンやタブレットの活用によるデジタル化の推進するとともに、議長任期や議会選出監査委員の在り方について協議が進められました。また、政治倫理条例の見直しに取り組み、人権意識の追加などの論点整理が進んでいます。

知事 所信表明 から

(抜粋) 私は、先の知事選挙において、ふるさとのために、コロナ対策、災害対応、産業振興に力を尽くすことを訴え、当選させていただきました。

三重で生まれた私は、国での35年間の行政経験を生かして、県民の皆様の負託に応えるべく、鞠躬尽力(こつこうじんりき)と謙虚な姿勢で全力を尽くすという意味)し、県政の課題に取り組み所存です。

三重は気候穏やかで、豊富な土地柄、食材にも恵まれた地域であり、また、中京圏と近畿圏の中間に位置し、交通の要衝であるとともに、産業立地の面でも優位性のある地域です。

そうした土地柄も関係しているかもしれませんが、県民性としては、「温和でやさしい」とされる一方、「積極性に欠けるくらいがある」とも言われることがあり、もともと県の良さ、素晴らしいところを発信していくべきであると、東京、名古屋、大阪、パリで勤務した私は感じています。(中略)

(県政運営の姿勢) 古代中国では、政治のことを「聴政」と呼んでいました。また、明治新政府の基本政策である「五箇条のご誓文」には、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」と掲げられています。私は県政を進める上で、広く県民の皆様の意見を聴くことが大切であると考えています。

「信なくば立たず」(論語から引用)。兵を去り、食を去ることになっても、信を去ることはできません。県民の皆様の信頼が最も大切であると考えています。二本松藩の「怪石銘」に記されている、「爾捧爾祿、民膏民脂。下民易虐、上天難欺」という言葉を肝に銘じ、職員にも配慮し、県民の皆様のために働く仲間とともに、県政運営を進めてまいります。



小選挙区25年、自公連立22年
衆議院総選挙「世代交代」実現!
名張市を含む選挙区(2区)では川崎ひとと氏39歳!

去る10月31日、衆議院総選挙が開票され、三重県は選挙区のうち、三選挙区で自民の候補が当選。1区で全厚生労働相の田村憲久氏が9選を、2区で新人の川崎秀人氏、4区で前三重県知事の鈴木英敬氏がそれぞれ当選を決めました。

一方、3区は立民前職の岡田克也氏が11選されました。また、比例区において、三重県からは、自民の石原正敬氏、公明の中川康洋氏、立民の中川正春氏が当選されました。結果、三重県選出の衆議院議員は7人となりました。

これにより、今後の県政推進に、特に北勢地域にとっては、大きな力となってくれるでしょう!



小林史明デジタル副大臣と面談!

去る10月27日、小林史明デジタル副大臣とeスポーツなどの活用をはじめ、三重県におけるデジタル社会推進に関する意見交換させていただきました。

中でもeスポーツの振興は、単なる産業創出のためでは弱く、高齢者や障がい者が楽しくデジタルに触れてタブレットが使えるようになるきっかけに、eスポーツに自然に参加していける流れを作ることが良いのではと話されました。

また、公園内にカフェをつくる(Park・PFI)ことなど、PFI(民間の資金や技術を活用した公共事業)手法の責任窓口を担当しており、eスポーツの拠点を地域に作るには最適な方法でないか。とのアドバイスを受けました。



いよいよ「定数削減へ!!」(条例改正)

三重県議会選挙区及び定数に関する「正副議長案」で決着!

三重県議会選挙区及び定数に関するあり方調査会の最終報告座長案に基づき、正副議長案が審議され、5月の本会議で条例改正されました。伊賀市選挙区は3人から2人へ、伊勢市と鳥羽市が合区され1人減の4人へ、東紀州(尾鷲市、北室生郡、熊野市、南室生郡)が合区し1人減)3人となり、三重県議会議員の総定数は、3人減の48人となりました。

誠心誠意

三重県議会議員 中森 博文

第38回目の県政報告をさせていただきます。

令和3年9月12日に投開票された知事選で、初当選された一見勝之知事の就任会見において、5年後を見据えた県の新たな総合計画「元気プラン」策定すると表明されました。

そして、10月6日、新知事からの所信表明とともに三重県議会が再開されました。

今回は、新知事就任後初めて、また7月より自民党派合流後発足した初めての自由民主党会派代表質問の内容を中心に、「県政報告書(博愛)」に、記載させていただきました。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、お亡くなりになった方へのご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみ申し上げますとともに、感染症を被った方々へお見舞い申し上げます。また、医療従事者・関係者すべての方々へのご尽力にあらためて感謝申し上げます。

少しずつ終息の兆しを感じられる中、いわゆる通常の行事・イベント・総会などが徐々に再開しつつある中、今一度議員活動を見つめ直す良い機会を与えていただきました。

あらためて、名張市選出県議会議員としての責任を果たしつつ、我が三重県の発展に、微力ながら誠心誠意努力してまいります。

気候の変わり目です。どうぞみなさまご自愛ください。

参加
無料

三重県議会議員 中森博文

県・政・報・告・会

●とき/ 1月22日(土)
午後3時~
●場所/ アスピア

特別講演

ゲストスピーチ

●衆議院議員 川崎 ひでと様
●県議会議員 山本 さちこ様

届けようあなたの声を!

広聴・広報委員会

県民の声

「三重県議会議員報酬」について知りたいのですが?

答 三重県議会議員報酬については、厳しい三重県財政の下、議会経費削減の観点から、令和元年5月に条例改正し、議員報酬83万円から10%(83,000円)削減し、74万7千円へ、さらに、政務活動費は30%(99,000円)を削減しています。

インターネットで本議会や委員会の中継を配信し、みえ県議会だよりにおいて「届けようあなたの声を県議会」と銘打って広聴に取り組んでいます。